

株式会社テクノマセマティカル

2025年3月期<第25期>

第2四半期(中間期)

決算説明会資料

■ Algorithm Specialist

TMC

2024年11月26日

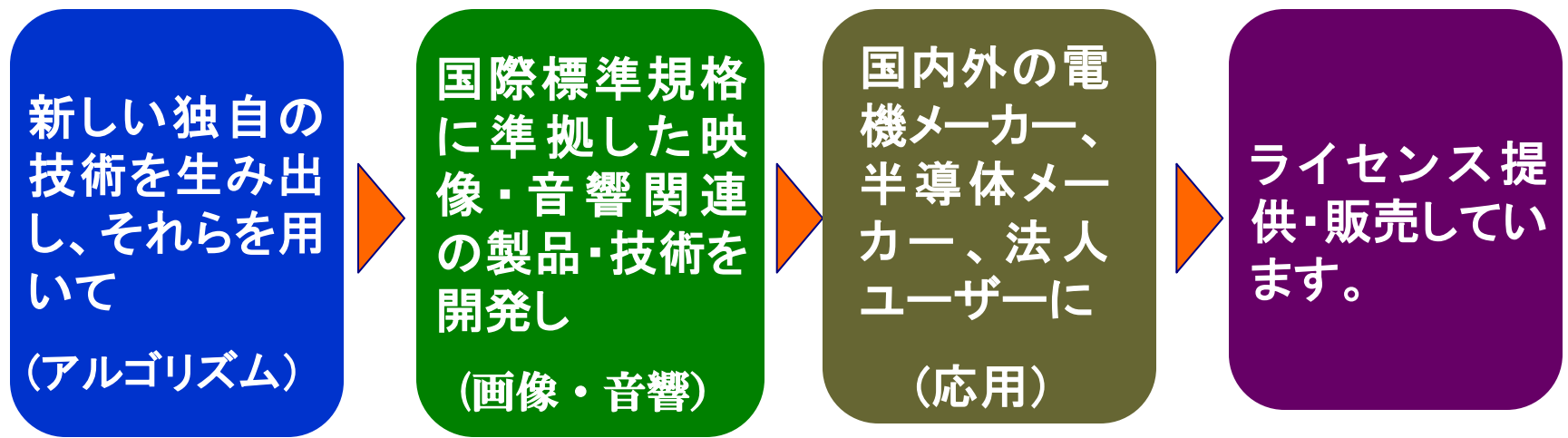
Agenda

1. 事業概要
2. 第2四半期(中間期)決算の概要
3. 主要な売上指標の推移
4. 通期業績見通し
5. 2025年3月期の課題と進捗
6. 当社技術のご紹介

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをあらかじめご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について

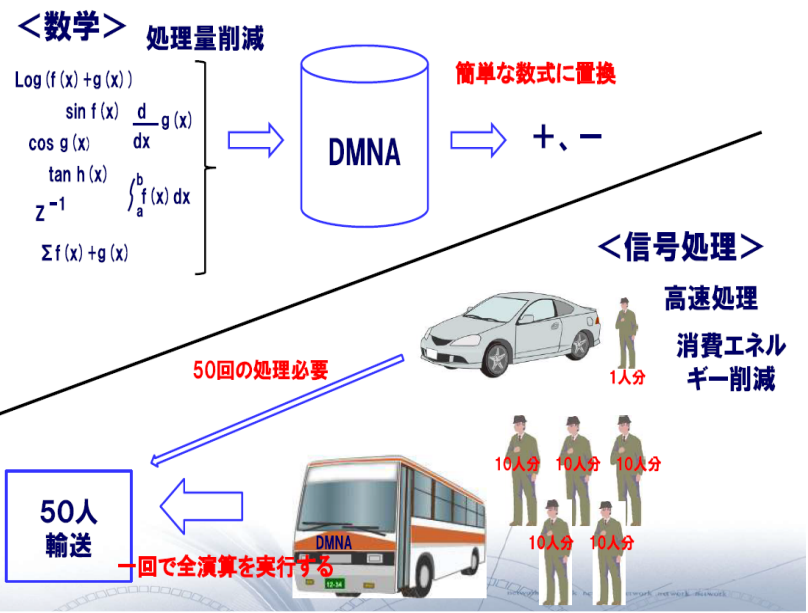


①高圧縮率、②高画質、③低消費電力量、④低遅延
 を実現するデータ圧縮・伸張技術を開発、提供し続けます。

1-2 DMNAとは

テクノマセマティカルは、独自の技術「DMNA」を用いた、高品位なソフトウェア・ハードウェア技術・製品で、豊かな社会の実現に貢献します。

DMNA(Digital Media New Algorithm)の特徴



因数分解、折り返し演算、階層化処理等の数学的手法を用いて、演算の負荷を劇的に削減する新アルゴリズム、それがDMNA (Digital Media New Algorithm) です。DMNA は東京大学 客員教授の田中正文が中心となって開発、その応用分野は動画像に限らず、静止画、音声、音響等あらゆるデジタルメディアに広がっています。

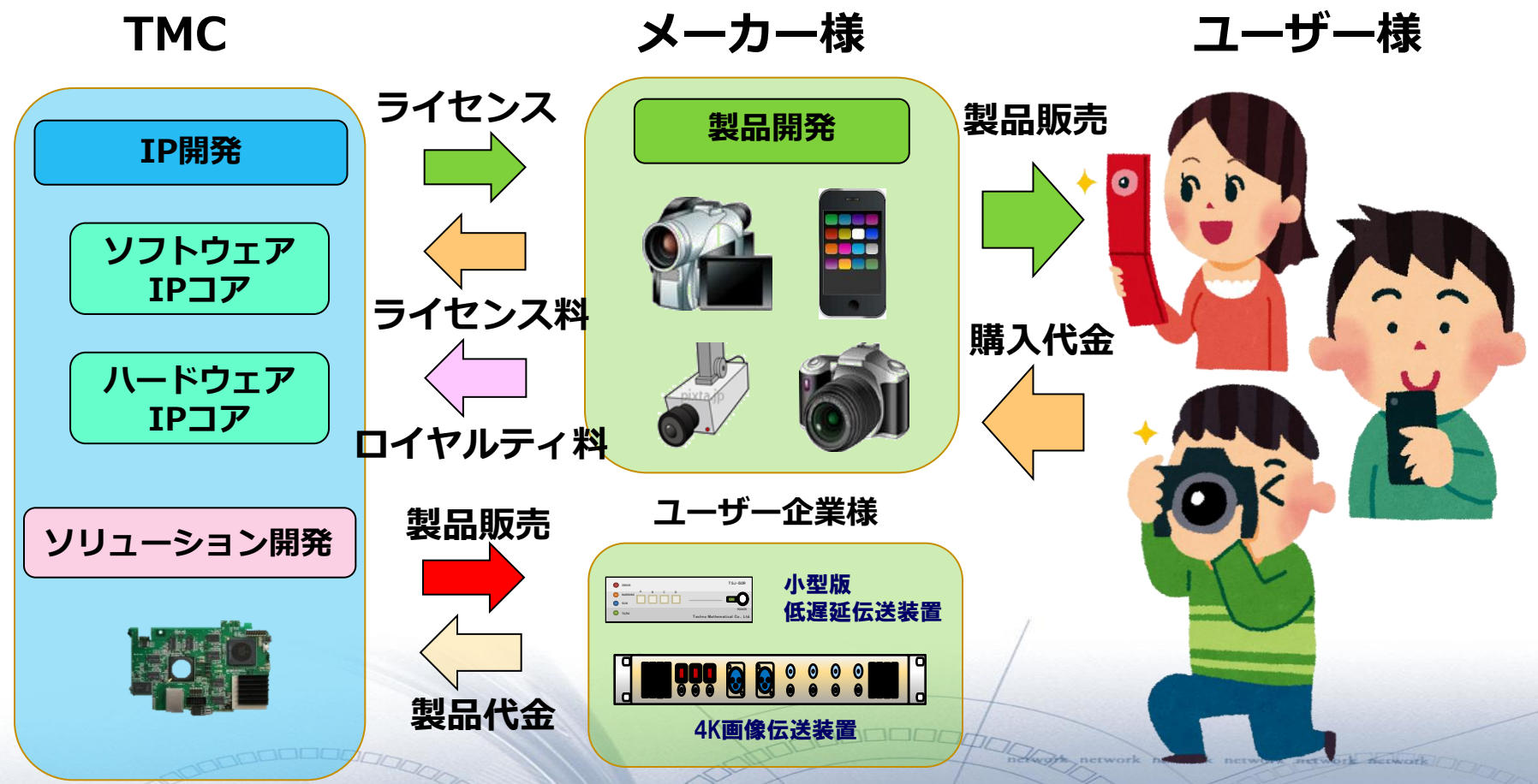
- 低消費電力** : CPU負荷をドラスティックに削減 !
(H264 Dec ARM 2572Mhz ⇒ 407Mhz)
- 高速化** : CPUの動作周波数を上げずに性能向上
(フレームレート: 60fps ⇒ 120fps)
- 高画質** : 新アルゴリズムによる2dbの画質向上
(空気を写す画質、)
- 低遅延** : デジタルの最大弱点である遅延を大幅削減

TMC製品搭載機器例、



1-3 ビジネスモデル

当社は、独自のコンピュータアルゴリズム DMNAを用いて高品質・低消費電力・低遅延のIP・ソリューションを開発し、国内外のメーカー様等にライセンス提供または販売しています。



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス/ロイヤルティ・モデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像/音響製品

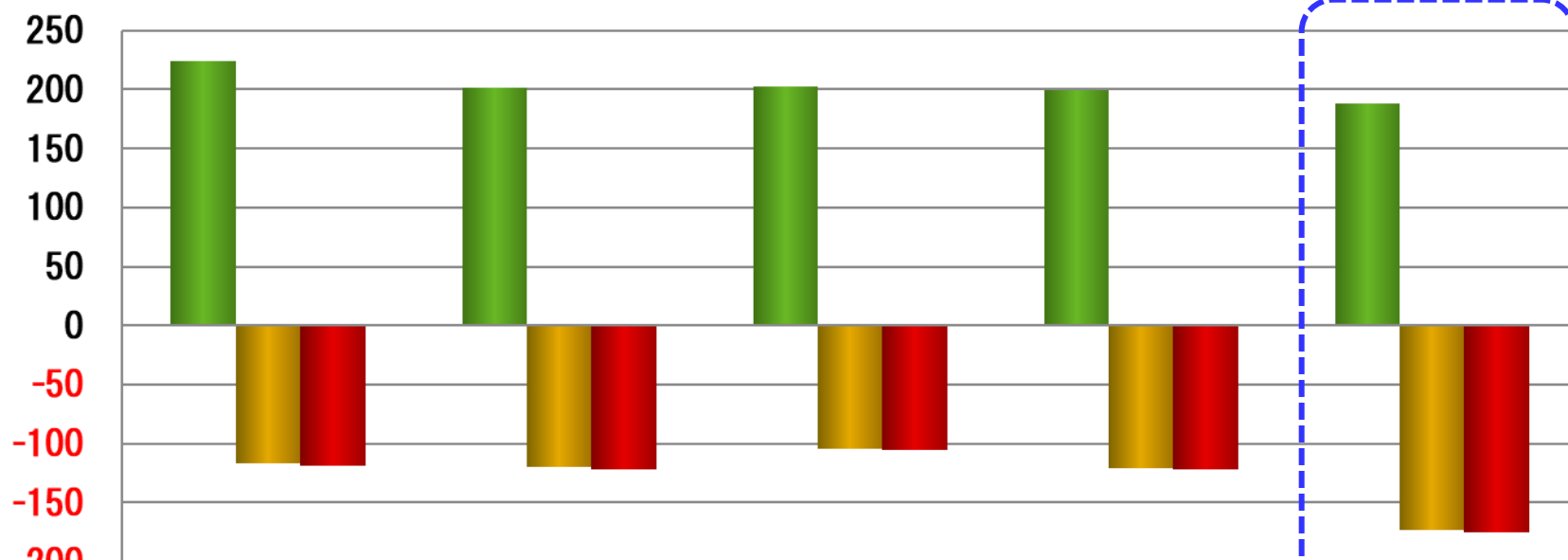
4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存/新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 業績の推移

- ◆ 売上高 前年同期比5.7%減
ソリューション事業は横ばい確保ながらライセンス事業の低迷が響く
- ◆ 損益面 売上高の伸び悩みで損益面も赤字幅拡大

(百万円)



	2021/3期2Q	2022/3期2Q	2023/3期2Q	2024/3期2Q	2025/3期2Q
■ 売上高	224	202	203	199	188
■ 経常利益	△ 117	△ 120	△ 104	△ 121	△ 173
■ 2Q純利益	△ 119	△ 122	△ 105	△ 122	△ 175

2-2 損益計算書 (2024年4月1日～2024年9月30日)

(単位：百万円)

	2025/3期 第2四半期 (中間期)	構成比	対前年同期 増減比	前年同期 (2024/3期2Q)
売上高	188	100.0%	△5.7%	199
売上総利益	168	89.7%	△6.8%	181
販売管理費	343	182.3%	8.3%	316
営業利益	△174	△92.5%	—	△135
経常利益	△173	△92.2%	—	△121
四半期純利益	△175	△93.0%	—	△122

2-3 貸借対照表 (2024年9月30日)

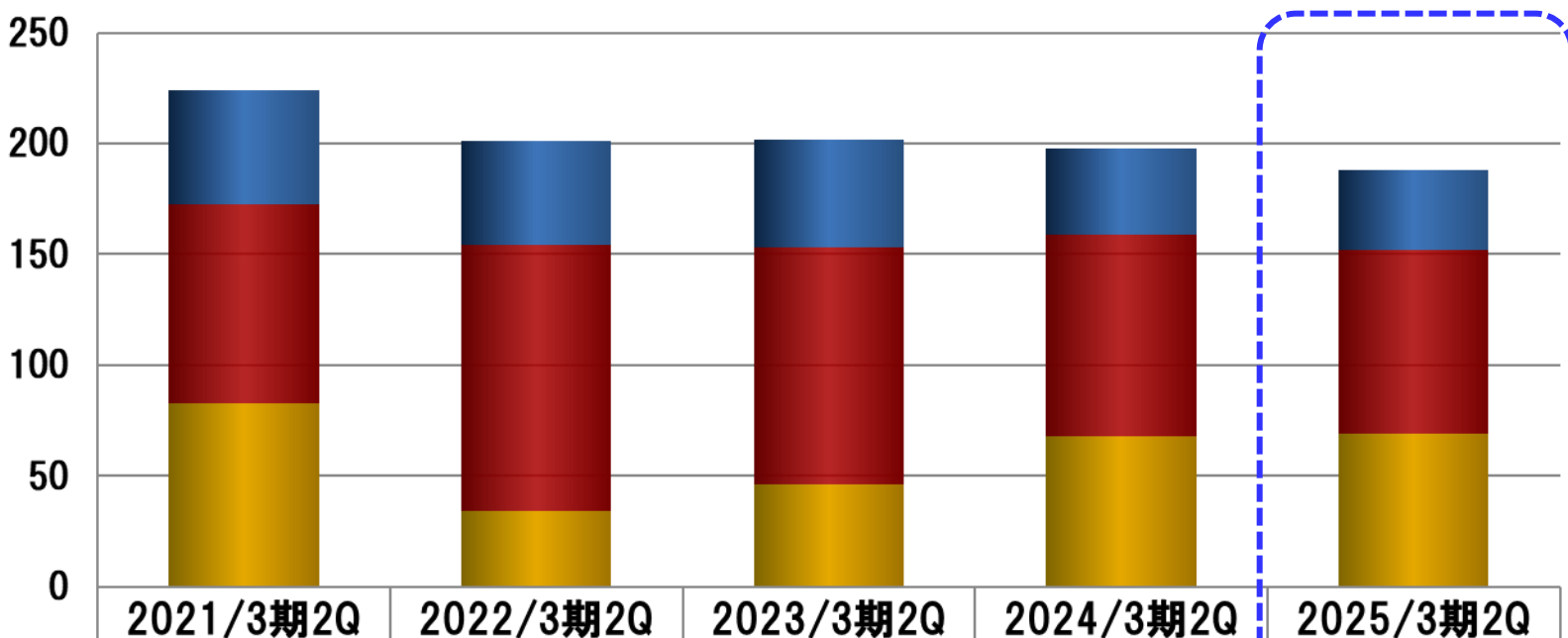
(単位:百万円)

	2024/9末	構成比	対前期末比 増減	2024/3末
流動資産	1,124	56.8%	△205	1,329
固定資産	854	43.1%	△2	857
資産合計	1,978	100.0%	△208	2,187
流動負債	86	4.3%	△23	110
固定負債	3	0.1%	△2	6
純資産	1,888	95.4%	△181	2,070

3-1 売上の内訳(事業区分別)

- ◆ソフトウェアは前年同期比7%減・・・ロイヤルティ、新規案件ともに低迷し7%減
- ◆ハードウェアは前年同期比8%減・・・保守案件が下支えも、ロイヤルティ減少で8%減
- ◆ソリューションは前年同期比1%増・・・装置物販売不振も、開発案件堅調で横ばい確保

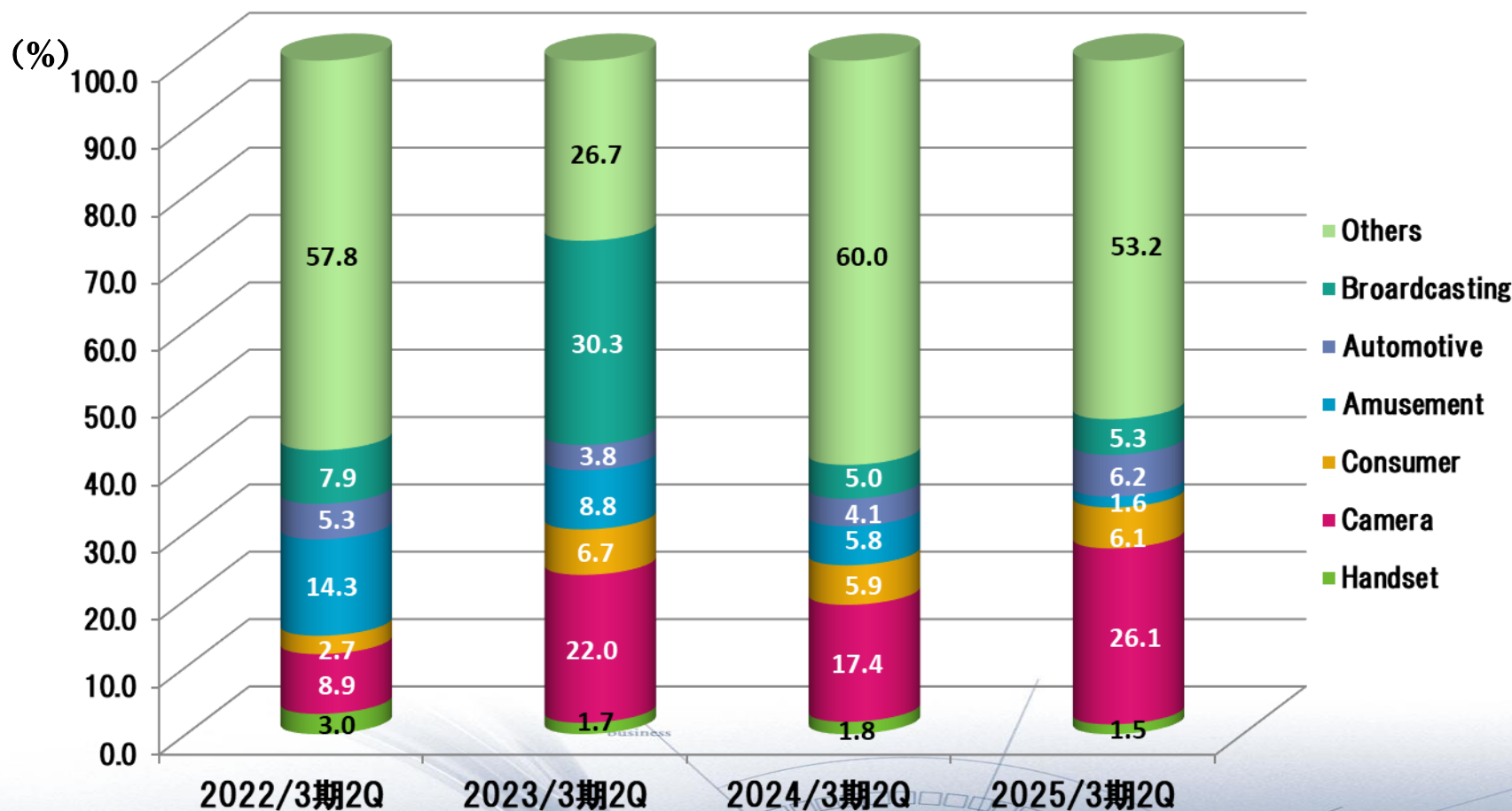
(百万円)



■ソフトウェア	51	47	49	39	36
■ハードウェア	90	120	107	91	83
■ソリューション	83	34	46	68	69

3-2 売上の内訳(対象市場別)

- ◆カメラ向けウエイト増加は保守契約による下支えが主因。
- ◆アミューズメント向けウエイト減少はロイヤルティ減少が要因。



4-1 2025/3期通期業績見通し

(単位:百万円)

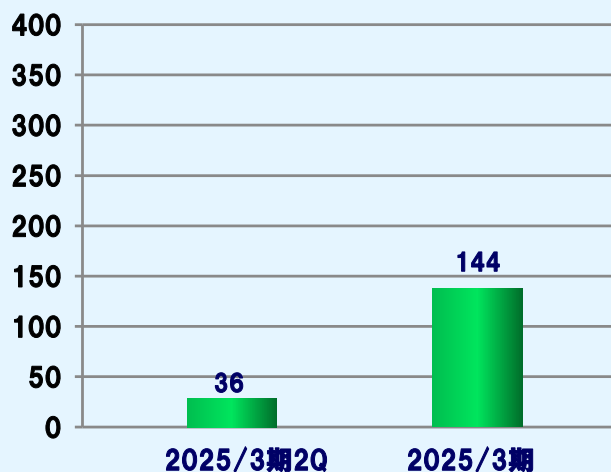
	予 想	増減	増減率	2024/3期実績
売 上 高	735	207	39.3%	527
経 常 利 益	23	164	—	△ 141
当 期 純 利 益	17	161	—	△ 144

- ◆ ソフトウェアライセンス＝車載機器、音声認識、携帯端末、配信システム向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝デジカメ、放送機器、表示装置向け中心にH.265/H.264Multi、JPEG XS、固定長見込む
- ◆ ソリューション＝各種装置物拡販、車載関連やその他各種システム/カスタム案件も見込む

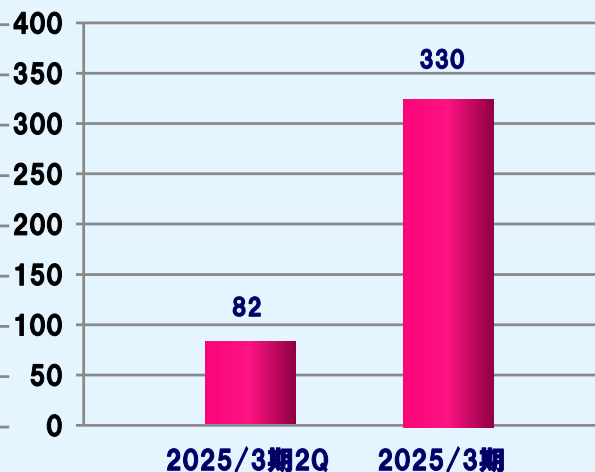
4-2 部門別見通し

<売上高> (単位：百万円、2025/3期2Qは実績値 2025/3期は計画値)

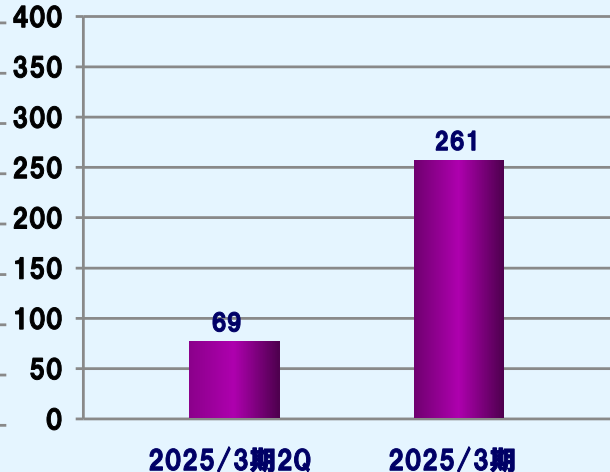
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション



- ・ オーディオ、ボイス関連は**車載**、**音声認識**、**携帯端末**向け案件獲得見込む
- ・ **各種配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む

- ・ **デジカメ**、**放送機器**向け中心に**H.265/H.264Multi**案件獲得目指す
- ・ **ディスプレイ装置**向け中心に**固定長圧縮**、**デムラ圧縮**などの獲得見込む
- ・ **医療機器**向け**JPEG XS**も期待

- ・ **各種装置物**の国内外での**拡販**見込む
- ・ 防災・防衛向け**低遅延システム**の**拡販**見込む
- ・ **車載関連**や**各種システム構築**案件の獲得見込む
- ・ **映像鮮明化技術**も期待

5 2025年3月期における課題と進捗

1. 売上拡大

(1) ライセンス事業:H.265 & H.264Multi/固定長/認識率向上SW案件の獲得

⇒ 固定長案件2件獲得

(2) ソリューション事業:市場ニーズを先取りした新製品開発

⇒ 2ch低遅延IP伝送システム(鮮明化・SRT機能付)/鮮明化アプリ
販売開始

2. 営業・開発の連携強化による海外ビジネス対応と案件数拡大

⇒ 海外ライセンス案件1件獲得するも発掘停滞、訪台の定期化図る

3. 顧客接触の量的・質的向上と価値の訴求強化

⇒ Webページ・コンテンツの充実と見込み客訪問回数増による案件発掘

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の維持・強化

⇒ マルチコーデック機能 & 画質改善、映像鮮明化App機能向上

6 当社技術のご紹介(一部)

“LucidEye” 鮮明化アプリ

<概要>

少子高齢化、働き方改革などによる労働力不足から、あらゆる業種・業態で無人化・自動化が進み、自動運転、遠隔操縦、ロボット、ドローン、アバター、無人販売など様々なシーンで人が遠隔から映像を見ながら監視、操縦、サポートすることが求められています。

本アプリは、これらのシステムにおいて夜間や暗闇、逆光、雨、霧などの現地の悪条件の映像をリアルタイムで改善し、視認しやすい映像での対応を可能とします。

また、映像捜査や映像を使った解析において、映像プレーヤアプリや専用解析アプリの表示の視認性に問題がある場合に、その表示画面を“LucidEye”鮮明化アプリでキャプチャして鮮明化処理を施すことで視認性を改善することが可能です。

<特長>

(1) 豊富な動作モードと鮮明化処理対象

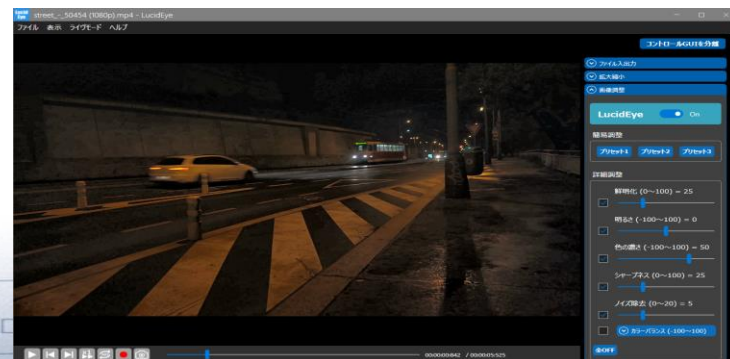
- ・静止画・動画ファイルモード：静止画ファイル、動画ファイルを処理
- ・ライブモード：HDMI、VGA、RCAなどの映像信号を処理
- ・ウィンドウキャプチャモード：画面または他アプリ（映像解析アプリ、操縦アプリ等）のウィンドウを処理

(2) リアルタイム処理

ライブモード、ウィンドウキャプチャモードでは、汎用的なスペックのPCでリアルタイム処理が可能のため、遠隔操作や遠隔サポートなど同時性が必要な用途に使用可能。

(3) 高い操作性と簡易な効果調整

- ・無駄なく厳選した機能の配置と操作性を追求したユーザーインターフェースにより、一般的な利用者でもほとんど事前学習することなく直感的な操作で使用可能。
- ・プリセットされた3つの簡易調整ボタン（強中弱）に加えて、詳細調整用のスライダーで効果調整が容易。



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp